

宮古発

さんりく元気ラジオ



「さんりく元気ラジオ！」(毎週水曜日・ワイドステーション)。今週はみやこ災害FMの鈴木清恵さんが、写真返却センターについて伝えてくれました。

ここは震災のため汚れてしまった写真を洗浄して持ち主に返そうと去年2月に開設し、ボランティアの方などが作業を行っています。26日は花輪中学校の1年生14人が体験しました。ハケやブラシを使って丁寧に土や埃を払う大変な作業ですが、思い出の詰まった写真を少しでもきれいにしようとして一生懸命に取り組んだという事です。

大船渡発

JR大船渡線 BRT試乗会



東日本大震災で被災し、運休が続いているJR大船渡線は来月2日、BRT=バス高速輸送システムで仮復旧します。それを前に報道関係者などの試乗会が行われ、大船渡駅から盛駅までの専用道を走行しました。試乗会では「ハイブリッドバス」が大船渡駅と盛駅の間に設けられた専用道1.9キロを走りました。バスは30キロから40キロほどのスピードで走行。一般道との交差点では十分に安全を確認しながら進み、大船渡と盛の間を片道5分ほどで往復しました。車体到大船渡市や陸前高田市など沿線のキャラクターが描かれたバスは床が低い「ノンステップ式」でお年寄りや体の不自由な人にも優しい設計になっています。運行本数は陸前高田と盛の間で上下あわせて51本など、震災前の鉄道の運行本数に比べて大幅に増えます。(2/26 ニュースエコーより)

宮古発

CM劇で伝える「ホタテ」の魅力



コマーシャルづくりを通して伝え合う力を養おうと、宮古市の鉾ヶ崎小学校で「CM劇」の発表会が行われました。

児童がPRしたのは地元で獲れる『ホタテ』。4年生の児童27人が、6つのグループに分かれ、15秒という限られた時間で、演劇スタイルでPRを行いました。この小学校では、地域の産業に触れようと、毎年「ホタテ養殖体験授業」を行っていません発表会でも、震災で被害を受け養殖再開にこぎつけた漁家を題材にしたものなど、地元のホタテへの「愛着」が感じられるCM劇も披露されました。鉾ヶ崎小学校では、今後、このCM劇をもとに地元のホタテの魅力を広く発信する方法を検討して行く事にしています。(2/27 ニュースエコーより)

ファストフィッシュ第二弾

「骨取りさば」全国発売

魚を手軽に食べられるよう、骨を取り除いて味付けをした新商品「骨取りさば」が27日から全国発売されました。



三陸鉄道・久慈市漁業協同組合・イオンのコラボ商品第二弾です。「骨取りさば」のパッケージには、三陸鉄道の人気キャラクター「鉄道ダンシ」をデザイン。「さば」は骨を取り除き、味付けも「塩麹」「スモーク」「ブラックペッパー」の3種類が楽しめます。「骨がたくさんあって食べるのが面倒」、「調理の仕方がよくわからない」という人たちにも魚を食べてもらおうと工夫された「ファストフィッシュ商品」で、焼くだけで食べられます。「骨取りさば」はすべて久慈で加工され、売り上げの一部が三陸鉄道の収入となる復興応援商品で、全国のイオングループおよそ500店舗で販売されています。(2/27 ニュースエコーより)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122